

JHF理事会議事録

日 時： 2018年12月5日(水) 14:00～17:00

場 所： JHF事務局会議室（北区中里1-1-1-301）

1. 議長・議事録作成人指名

議長： 安田英二郎 議事録署名人：出席理事監事全員

2. 定足数確認

出席者：出席【理事】 芦川雄一郎 市川 孝 内田孝也 大沢 豊 金井 誠
小林秀彰 殿塚裕紀 安田英二郎

【監事】 岩村浩秀

欠席【理事】 増田憲治

（出席理事8名 欠席理事1名（増田）今理事会は定足数を満たし成立した）

3. 理事の一言

市川理事：9月23日PG日本選手権の中で開催したアジア競技大会チーム祝勝会に参加、10月20、21日に埼玉スカイスportsフェスタ（SSF）に参加、12月1日にスカイスportsシンポジウム（日本航空宇宙学会主催）で司会進行をしました。例年に比べると参加人数が少なく感じました。11日に神奈川県警来局の対応、来年2月初めに内閣府の立入検査の対応をします。

殿塚理事：アキュラシー日本選手権へ挨拶と表彰式に行きました。韓国から6名参加し上位総なめでした。日本人選手の最年少が30代半ばに対して、韓国選手は17才高校生、最年長でも32才でした。

芦川理事：フライヤー保険更改の件で東京海上日動との打合せをしました。来年も無事に更新出来ます。高額な支払が増えた不安はあります。自動車保険のオプションでも入っていれば按分されますので、他の賠償責任保険に入っているかの確認とお願いもしていきたいと思います。HGタンデムのスイスでの衝撃的な映像が話題になりましたが、テレビ局から事務局にも問合せがありました。

大沢理事：そのテレビ局の撮影を手伝って来ました。悪いイメージは打ち消すことはできたと思います。PG日本選手権の役員をやりました。朝霧でHG日本選手権を開催、デイクオリティーが2.5くらいで成立しました。

内田会長：9月1日、2日の国体デモスポに臨席。2019PG日本選手権のため白山市に表敬訪問。9月20日空の日の表彰式で、ハング日本記録証で服部良亮さん、アジア競技大会の日本チームの皆さんに「空の夢賞」が授与されました。9月23日PG日本選手権のアジア競技大会の祝勝会。10月3日はハングパラ振興委員会。19日JAA会長からアジア競技大会日本チームのメダルに対してお祝いをいただきました。10月21、22日はSSF。27日はPGのJリーグ新潟県知事杯尾神岳の開会式でアジア競技大会のお祝いセレモニーがあり、国会議員、県知事、市長もご挨拶に来てくれました。11月は教員スクール事業委

員会と、HG日本選手権。HG日本選手権には航空協会から航空スポーツ室長が来てくれました。29日に東京海上日動の保険更改打合せをしました。

小林副会長：補助動力PG全国大会が大分でありましたので行って来ました。静岡へのフライトツアーで井川笹山エリアにも行きました。スキー場でグライダー10機くらい広げられるポテンシャルの高いエリアで宿泊施設もあり国際大会も出来るかもしれません。ダムに水が入っていればSIVトレーニングが出来る面白いエリアでした。ハングもパラも出来るかなりのクロカントスクも作れます。

金井理事：9月末に南陽スカイフェスティバルを開催。アジア競技大会の影響で役人の反応が全然違いました。一般的なオリンピックの影響は大きいです。10月にSSFで車イスのフライトをしました。11月に学連の新人戦とピンクカップを開催して無事成立しました。

4. 審議事項

審議事項4-1 2019ハンググライディング世界選手権 in イタリア日本チームの承認について

大沢理事より2019年7月13日～27日にイタリアで開催されるクラス1の世界選手権の選手をHG競技委員会が決定したメンバーについて説明があった。チームサイズが決まったら次点より決定することで、チームメンバーの変更があった場合は理事会に報告をすることで議決した。

採決の結果、【賛成7 反対0 棄権0】で可決された。

賛成： 芦川、市川、内田、大沢、金井、小林、殿塚

5. 協議事項

協議5-1 今後の補助動力パラグライダー全国大会の競技内容について

小林副会長から11月10日、11日に開催された補助動力パラグライダー全国大会について報告があり、補助動力競技について協議をした。JPMAとの協議も活発に行い将来の動力飛行のあり方を考えていく。

協議5-2 静岡県フライヤー連盟からの提案について

静岡県フライヤー連盟より、JHFサイト上で会員登録が有効かどうかを照会出来るようにして欲しいという提案について協議した。

芦川理事：有効期限が切れている人が飛んで事故を起こしたことがありこの提案が出たと思う。

小林副会長：データベースを再構築してウェブ上での会員管理、入会、支払が出来れば事務局の負担も減る。時代の流れでウェブサーバーを使った会員管理が必要ではないか、データは個人情報なので誰でもアクセスは出来ないように権限を分ける。技能証規程も変更になる場合、データベースを見直したいので、専門知識がある方で特別委員会を作ってデータベースの検討、会員証の発行等を検討したい。

芦川理事：会員証にはフライトの際に携帯くださいと書いてあります。エリア管理者がきちんと管理して持っていない人は飛ばせられないと言ってよいことです。

大沢理事：エリア管理者が普段はいないエリアもありますね。

金井理事：エリア管理が出来ているところであれば、入山時に確認するはずですが、ウェブで見られるようにしても意味はなく必然性がよく分かりません。

議長（安田副会長）：有効な会員番号だけ知りたいのであれば、それだけをホームページに出しておけばよいです。

大沢理事：ハングの大会ではフライヤー会員証とスポーティングライセンスは必ず持って来てもらいます。スマホで写真を撮っておいて見せる人もいます。

内田会長：データベースについては、ハッキングされるリスクを冒すことはしないように構築して運営してもらっています。必要であれば安田副会長が言ったように個人情報の中からデータの一部を取り出してウェブに公開することは出来ますが、データベースそのものを変えることはやらない方がよい。

小林副会長：災害に対しての強さを出すためのクラウドを各社取り入れています。2箇所にとるとか。

芦川理事：物理的にバックアップを取ってあればポリシーはネットには繋げないということです。何かあって前の日のデータがなくなっても申請書と紙があれば直せます。

議長（安田副会長）：フライヤー会員証を忘れた人のためにどうしてそこまでやるか分かりません。持っていないのであれば断るべきです。

殿塚理事：会員証を持って来ないから飛ばさないというのは簡単ですが、確実にそこでチェックして切れているのであれば登録してもらおう。登録漏れを防ぐための利点でもあると思います。方法論ですが、手数料の問題はありますが、カード決済もよいと思います。

金井理事：有効期限があやふやであればショップからJHFにFAXを送っておけばよいのですよね。

殿塚理事：外部のカード決済のシステムを使った方が安上がりだと思います。紙がなくなりスマホの画面を見せるシステムにはなりますが、一方で対応出来ない人がいます。最終的にはオーストラリアのように全て画面で出来るシステムが可能になれば。

市川理事：システムが紙での対応とカードも入ってくると手間を考えると事務局は1本にした方が楽です。

議長（安田副会長）：人口が減少しているところにそれを導入するメリットが感じられません。2～3万人に会員がなれば便利にしようとは思いますが。

大沢理事：自動振替のシステムで新しい会員証は自動的に届くので忘れません。

小林副会長：自動振替は残高不足とか手間が掛かっています。カードだとカード会社が支払います。

岩村監事：決済が出来ないとリファンドすることになります。

議長（安田副会長）：今回の静岡県連からの提案については、協議しましたが会員証の確認をきちんとしなさいということですね。

審議事項5-3 ハノイ パラグライダー協会との提携について

殿塚理事より、10月23日に「ハノイ パラグライダー協会」が設立され、協会の会長から「JHFから学ばせて欲しい、パートナーシップを結ばせて欲しい」と要望があり、どういう関係を築けばいいか協議をした。FAIには別の団体がNAC登録されており、FAIとの繋がりが明確となれば、IPPIカードのシステム、リパック、セミナー等の情報も教えていける検討をする。

6. 報告事項について 下記が報告された。

6-1 予算実績表

岩村監事より、予算処理していない事業（安全性委員会のセーフティータグ、事故ゼロキャンペーン事業等）については予備費を使うことになるので、様子を見て補正予算出すことも考慮するよう期末までに検討をして欲しいと提案があった。

6-2 フライヤー会員登録・技能証発行実績

この議事録が事実と相違ないことを確認し記名押印する。（出席理事）
理事

芦川雄一郎 印

市川 孝 印

内田孝也 印

大沢 豊 印

金井 誠 印

小林秀彰 印

殿塚裕紀 印

増田憲治 印

安田英二郎 印

監事

岩村浩秀 印

議事録作成：桜井加代子